

## 第 1 回検討会における意見まとめ

## 【0. 全般】

- ・ 利活用目的、ルール、費用負担の検討課題は互いにリンクしていると思う。次回の検討会では事務局が案を提示すべき。
- ・ 大規模医療情報の利活用により、どのようにして「現在の副作用の自発報告等の限界を補う」のか、具体例を明示していただきたい。
- ・ MIHARI プロジェクトの事例及び結果について示してほしい。
- ・ 「DB の利活用による最終受益者は国民」とあるが、この事業による国民の利益及び個人情報情報の取扱いについて周知いただきたい。
- ・ 本格運用後も、継続的なデータの品質管理（リアルタイムバリデーション）が必要であり、そのための管理の仕組みを構築することが必要。
- ・ DB 活用にあたって、MID-NET の特徴やデータ構造を熟知している人材の育成のあり方も検討してほしい。
- ・ この事業を通じて明らかとなった課題を抽出して、次の事業に生かすべき。
- ・ 拠点以外の医療機関による利活用のメリットを強く打ち出して欲しい。

## 【1. 利活用範囲】

- ・ 利活用の範囲は「DB の利活用による最終受益者は国民」との考えに基づいて検討すべき。

## 【2. 利活用ルール】

- ・ MID-NET における情報の取扱い（匿名加工の考え方）については次回の検討会で議論し、対外的に発信すべき。
- ・ 利活用をする情報の取扱いの種類（個票、集計結果など）により分類して検討すべき。

## 【3. 費用負担の枠組み】

- ・ リアルタイムでの品質管理など医療機関での維持経費も必要であり、本格運用後の費用負担で考慮してほしい。